

iPOSH の安全性についての弊社の見解

平素は除菌消臭水の iPOSH をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

このたび、『次亜塩素酸水』噴霧の安全性に関する報道を受け、お客様からご心配のお声を多数いただいております。つきましては、噴霧も含めた弊社 iPOSH の安全性について、ご説明申し上げます。

<このたびの報道内容の事実関係>

- 独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下、NITE）による公表ⁱに基づき経済産業省が発表したファクトシート（令和2年5月29日付）を受け、文部科学省は、令和2年6月4日、「次亜塩素酸ナトリウム」の噴霧は危険である旨注意喚起し、「次亜塩素酸水」の噴霧についても、安全性が明確になっているとは言えないため、児童生徒等がいる空間での噴霧をしないよう事務連絡を発出しました。
- NITE による公表については、そのホームページ上に Q & Aⁱⁱが掲載されており、「『次亜塩素酸水』の噴霧での利用は安全面から控えるよう弊機構が公表したとする一部の報道に関して、噴霧利用の是非について何らかの見解を示した事実はありません。」とされています。

<iPOSH とは>

- 特許製法により製造した【次亜塩素酸（弱酸性）】です。
- 塩酸または塩化ナトリウム水溶液を電気分解することにより生成される「次亜塩素酸水」と比較して、成分の安定性が高く、純度も極めて高く、より安全です。

<iPOSH の安全性>

- iPOSH は水道水質基準ⁱⁱⁱを満たしており（飲用適）、噴霧の安全性は、水道水の加湿器噴霧と同等と考えております。
- 皮膚刺激性感作性試験^{iv}及び急性経口毒性試験^vにより、安全性が高いとの結果を得ております。
- 【次亜塩素酸(弱酸性)】の噴霧の安全性について複数の論文^{vi}があります。
- iPOSH の販売先において、健康被害等の報告は一例も発生しておりません。
- 【次亜塩素酸(弱酸性)】は、噴霧後に除菌などの効果を発揮し、空気やタンパク質との接触により濃度が落ち、水に戻るため、身体への影響は考えづらいと考えております。
- 人がいる空間での iPOSH の噴霧器のご利用は、必ず 50ppm(iPOSH200ppm の 4 倍希釈)以下でのご利用をお願いしており、これは、労働安全衛生法の基準となっている空気中の濃度 (0.5ppm) を超えない範囲で設定しております。

ご不明な点がございましたら、faq@lpower.jp お客様相談室長 志波までお問合せください。お客様に今後もより一層安心してご使用いただける製品づくりに取り組んで参ります。

ⁱ 独立行政法人製品評価技術基盤機構消毒手法タスクフォース「新型コロナウイルスに有効な界面活性剤を公表します（第2弾）」（公表日:令和2年5月29日）

ⁱⁱ 独立行政法人製品評価技術基盤機構「NITEが行う新型コロナウイルスに対する消毒方法の有効性評価について～よくあるお問い合わせ（令和2年6月4日版）」

ⁱⁱⁱ 秋田県分析科学センター様にて試験

^{iv} 株式会社 SOUKEN 様にて試験

^v 日本食品分析科学センター様にて試験

^{vi} 1)三宅真名, 山下光治「実験動物と環境」11巻1号42-47頁、2)鈴木大輔, 野澤康平, 米崎孝広「実験動物と環境」21巻2号99-108頁